

## 令和5年度 第3回 札幌方面豊平警察署協議会議事概要

### 1 開催日時

令和5年12月14日（木）午後2時00分から午後3時00分までの間

### 2 開催場所

札幌方面豊平警察署 3階道場

### 3 出席者

#### (1) 協議会委員 9名（定員11名）

会長 井上 朋也

副会長 埜本 麻名

委員 白石 一弘、水上 悟、今藤 亜矢子、有田 京史、  
神山 明弘、佐藤 未帆、北川 洋一

#### (2) 豊平警察署 6名

署長 香西 伸彦

副署長 近藤 宏

刑事・生活安全官 白幡 勝利

地域官 内田 憲吾

交通官 柴田 修至

警務官 安藤 伸一（事務局）

### 4 開 会

### 5 会長挨拶

### 6 署長挨拶

### 7 議 事

#### (1) 犯罪情勢について

#### (2) 交通事故等情勢について

#### (3) 議事に関する委員からの要望・意見

（委員からの要望・意見）

○ 前回の協議会で電動キックボードの話題になったが、その後取扱いはあったか。

（警察回答）

○ 当署での取扱いはない、検挙もなし。

電動キックボードがまだ高価ということもあり、未だ管内では普及に至っていないと考えられる。

（委員からの要望・意見）

○ 札幌市営地下鉄南平岸駅付近で、大規模な再開発が行われる見込みである。

これにより大病院の移転も伴い、その病院職員だけでも100名は超えると考えられ、今後、同地区での交通量増加により、事故の増加も予想されることから、信号機など交通インフラ充実の要望があがると考えられる。

（警察回答）

○ 貴重な意見として、今後の参考としたい。

（委員からの要望・意見）

- 豊平区役所職員を騙った特殊詐欺が多い、「保険料の還付ができる。」「手続を急いでいる、キャッシュカードを持って銀行に行ってくれ。」というもの。

また「携帯の番号を教えてくれ。」と言われ、教えた後、もう1回区役所職員を名乗り電話をかけて、ATM等に誘導し現金を振り込ませようとしてくる。

携帯番号を教えてしまったので大丈夫かという問合せに対し、警察の相談ダイヤル#9110を案内して不安を解消している。

多いときは一日に5件ほど問合せがあった。

(警察回答)

- 警察に相談の電話が入るといことは、住民の防犯意識が高いと感じる。  
区役所職員を名乗る詐欺で、顕著な被害に至った事例は認められないが、現金を振り込むと被害回復が難しくなるので、振り込む前に警察に相談して頂きたい。

## 8 諮問事項

「各種災害に備えて」

(委員からの答申)

- 災害時における警察対応の説明を受けて、災害時において消防が先行し警察に頼るというイメージがこれまではなかった。

警察の災害時における活動を、地域住民にも周知したい。

代替施設が札幌ドームということだったが、ほかにもグリーンドームの跡地等は敷地が広大で駐車も1,500台はできるし、物資の集積場にもなる。

今後、簡易トイレ、ベンチベッド、ストック品の貯蔵など住民意見を集約しようとしている。

札幌ドームを一次代替施設として使用し、こうした管内の施設利用も視野に選定するのはいかがか。

また災害時の警察の役割として、空き家に対する犯罪防止、人命救助、不明者捜索などあると思うが、具体的には警察からどういうことで支援してもらえるのか。

(警察回答)

- 機動隊の部隊による行方不明者の捜索や、署にも第二機動隊があり同じく捜索・救助活動等人命救助を優先する。

他にも110番の受理、住民の避難、空き家の警戒、信号機滅灯時の交通整理等、活動は多岐に渡る。

警察署に救出作業をするための装備資機材が、十分に備わっていないのも確かである。

警察署では先ず災害に関する情報の集約を行う。

情報がないと正しく対処できないので、その情報をもとに警察は全国的組織であることから、他府県からの応援を調整するという役割もある。

ほかにも交通整理等もあるし、情報に基づき二次災害を防ぐため住民の避難誘導も行う。

札幌ドーム以外の代替施設については今後の参考としたい。

(委員からの答申)

- 消防との連携はどうなっているのか。

(警察回答)

- 消防に通報が入っても警察が必要であれば連絡が来るし、警察も消防が必要と判断すれば連絡を取っている。

普段から連携は取れているが、災害時は情報が錯綜することがあるため完全には機能しないことがあるかも知れないが、可能な限り対応している。

(委員からの答申)

- 札幌市では各区持ち回りで災害訓練をしており、本年度は厚別区、来年度は豊平区で訓練が予定されている。

自衛隊、警察、消防、地域の方で9月頃実施予定、その翌年は清田区です。

厚別区の訓練では避難所に参集することから始まり、災害対策本部を立ち上げて実施した。

某大学での火災を想定し、屋上に人が取り残されたという設定で、放水やヘリによる救助訓練を行った。

医療班、各種防災機材の展示で、住民など約1,000名が参加した。

- 東北で被災した経験があるのですが、警察に頼るという思考がなかった。

広報誌やチラシは一目見てすぐ捨ててしまうのが正直なところ。

警察も印象に残る情報発信をして欲しい。

(警察回答)

- 今後の訓練・情報発信・業務の参考としたい。

## 9 報告事項

なし

## 10 次回の諮問事項等

### (1) 開催予定

令和6年2月上旬頃を予定

### (2) 諮問事項の事前周知

「令和5年度豊平警察署の活動に対する意見と、令和6年度の活動に期待すること。」

## 11 閉 会